

2021 年度 大学行政管理学会 研究会・研究グループ活動 報告書

研究会等名称 (設置地区)	ファシリティマネジメント研究会
活動目的	「ファシリティマネジメント」の考え方を基本に、そのスキルの研究活動を行うことによって、当該分野に関する研究水準の向上を図り、もって大学における実践的普及を目指すとともに、ひいてはこれらを担う人材育成に寄与することを目的とする。
参加資格・条件	大学における「ファシリティマネジメント」に関連する業務に従事・関係する方をはじめ、この分野に興味や関心を持って賛同する一般の会員の方々。
活動状況 ①開催ペース (毎月1回、第何曜日など) ②主たる開催場所 ③主な活動経過 ④現在の活動状況・研究テーマ等	<p>① 開催ペース：不定期</p> <p>② 主たる開催場所：大学キャンパス</p> <p>③ 主な活動経過 2006年9月発足。従来の施設管理にとどまらない“学び”や“安全”“コスト”“環境”“コミュニティとの関わり”などの観点からキャンパスのあり方について広く意見を交換している。主に関東地区を中心に現在までに63回開催。2010年『キャンパス再生のすすめ—これだけは知っておきたいキャンパス FM—』を出版。2011年から公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会(JFMA)のキャンパス研究部会との共同研究を開始。2012年には京都(立命館大学)、広島(広島大学)で研究会を開催。2013年は学事研究会との共同開催(千葉大学のラーニングコモンズ)。2015年には、「秋の夜学校」と題し、特別講演会を開催。これまでに産官学、地域、分野を横断した研究活動を行っている。開催に際しては、施設に絞った話題のほか、教学系など施設系以外に従事している職員が参加しやすいようなテーマも勘案しながら運営を行っている。</p> <p>④ 現在の活動状況・研究テーマ等 研究会は、学生目線でのキャンパス作りはいかにあるべきかを主テーマとして、関東近辺の大学を中心に開催し、設計思想や運営方針などを講演いただくとともに、実地視察を実施している。また、自然災害に係る施設設備の管理等をテーマに開催しているときもある。 本研究会は「現場を見て、感じる」をメインとして開催してきたため、2021年度の対面開催は4回開催を計画していたが、すべて見送りとなった。その代替措置として、フェイスブック「身近な建物・設備 in 大学キャンパス」を立ち上げ、情報交換を起きている。 今後も各大学のキャンパス諸施設をFMの観点をもって見学し、キャンパスFMに関しての意見を交換する機会をもつ予定である。</p>
その他	